

子どもへの虐待のない社会を目指して

下野新聞 子ども虐待防止啓発キャンペーン

section 10

いのちにハグを。action

紹介します！ 県内企業の取り組み

オヤコサポーターのキーホルダー（1個・500円・税込・送料込）は、こちらのQRコードサイトからご購入が可能です▶▶▶



お支払い金の一部を、子ども虐待防止ネットワークとちぎへ寄付します。

藤井産業株式会社
宇都宮南陽高校 櫻井 聖公さん
とちぎYMCA スタッフ 川口 夏菜子さん

高校生ボランティアによる「つぼみ食堂」について
とちぎYMCA高校生ボランティアグループ「つぼみ」が運営する「つぼみ食堂」を実施いたします。つぼみ食堂には、子どもや保護者・地域の方々に向けて食事や居場所の提供をすることで、交流の機会とする目的があります。始めるまでの期間は、県内で子どもの貧困問題を解決するために活動を行う他団体へ伺い、企画を進めてまいりました。次回は、6月11日(土)16:00~19:00宇都宮市青少年活動センター(今泉町3007番地)にて開催予定です。当社は、若者たちの活動を支援しています。

栃木トヨペット株式会社
人事・総務チーム 主幹 木方 勉さん

弊社は創立時から「社会公共の福祉に貢献する」経営理念のもと、地域社会への貢献活動や福祉活動に積極的に取り組んでまいりました。毎年2月に実施している下野医学会交通遺児基金への寄付は、今回で総額1000万円を超えました。また栃木県児童養護施設等連絡協議会へは子どもたちからの要望の多いカップ麺の寄贈も毎年実施しております。これからも栃木県の未来を担う子どもたちの笑顔を守っていくために、微力ではございますが、この活動を継続してまいります。

株式会社ドコモCS栃木支店
法人営業部 主査 村井 一気さん

NTTドコモグループでは、SDGsにも積極的に取り組んでおり、今回「いのちにハグを。子ども虐待防止啓発キャンペーン」のお話をいただいて、弊社としてみなさまのお役に立てることはないかと考え、「いのちにハグを。ACTIONxドコモCS栃木支店x子ども食堂サポートセンター・とちぎ」AIチャットボットをご提供させていただくこととなりました。少しでも多くの方に取り組みを認知いただき、子ども虐待防止につながればと考えております。



子育ての大変さを虐待につなげない、あなたのアクションを。

オヤコサポーターのマークは、子育て世代への思いやりの意思表示です。あなたの応援をマークで伝えてください。



こころが軽くなる
子育て中のママやパパがいます。
とちぎから、虐待ゼロへ。
できることからアクションしよう。

オヤコサポーターに、あなたも。

栃木県警が2021年に認知した児童虐待件数は392件で、被害児童数は565人でした。19年以降、件数、被害児童数はともに高止まりしています。

虐待ゼロへ
いのちにハグを。
とちぎ

企画・制作 / 下野新聞社 営業局

文星芸術大学附属高等学校
教諭 星野 龍二さん

本校は生徒指導に力を入れており、普段は楽しく時に厳しく生徒に接しています。そうした中考えるのは、愛情のない厳しさは生徒のための厳しさではないということです。私自身最近第一子を授かり、改めて愛情のこもった教育について考えています。虐待をなくすためには愛情のこもった関わりが不可欠なのではないでしょうか。私も日々の教育活動を通し、虐待ゼロに向けて活動していきたいです。

フタバ食品株式会社
取締役 齋藤 龍樹さん

悲惨な戦争の様子が連日マスコミで報道されています。心が痛むのは、無邪気な子供たちがいつも犠牲になってしまう現実です。日本では誰もが安心して、平和で豊かな生活を送れると思っています。しかし、家庭内でのいろいろな事情から、親と子の関係が悲惨な事件が起こり、大きな社会問題になってきています。親はもちろんのこと、その周りの大人たち、そして企業で働く私たちも、全員が日本の将来を託す子どもたちにもっと関心を寄せて見守ることが必要なのではないのでしょうか。

トヨタウッドユーホーム株式会社
総務部 半田 恵美子さん

トヨタウッドユーホームは、子育て世代社員に安心して勤務していただくよう、2017年11月に企業内保育施設「りすの森保育園」を開園しました。社員はもちろんのこと、地小さな保育園だからできる子どもに寄り添った保育を実践しており、保護者の方が悩みを相談できるアットホームな雰囲気です。一人で悩まずみんなで子育てしていきましょう。

NTT東日本 栃木支店
企画総務部 部長 小林 秀央さん

NTT東日本グループでは、SDGs推進活動の一環として、地域の子どもの未来や夢を後押しするため、自社のシンボルスポートチームによる野球教室・バドミントン教室の開催や小学生を対象としたネット安全教室等を開催しております。また、子育てしやすい地域への支援として、一部の自治体へ子育てに関する相談の行えるAIチャットボットを導入する取り組み等も行っております。私たちは、これからも地域社会の一員として、未来を担う子どもたちへの支援、虐待のない世の中となるよう取り組んでまいりたいと考えております。

いのちにハグを。action 私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します



いのちにハグを。サポーター カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、栃木フォスタリングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団!! (順不同)